

TNM&TOPPAN ミュージアムシアター 上演作品のご案内

VR作品「洛中洛外図屏風 舟木本」

～二条城の天守のもとで繰り広げられる政(まつりごと)と、現代の歌舞伎の起源を巡る旅～

東京国立博物館資料館 TNM&TOPPANミュージアムシアターでは、2011年1月2日(日)～2011年3月27日(日)まで、VR(バーチャルリアリティ)作品「洛中洛外図屏風 舟木本(らくちゅうらくがいずびょうぶ ふなきぼん)」を上演します。(同時上演:VR作品「江戸城一本丸御殿と天守」)

今回の上演では、舟木本に大きく描かれた政治的なモチーフである徳川家の二条城と朝廷の御所をめぐることで、時代背景や時の権力者の勢力図に迫る「京の政(まつりごと)」と江戸時代を代表する芸能である歌舞伎を中心に、当時の京都の芸能文化を紹介する「京の芸能ーかぶきー」の2つのテーマを新たに制作。昨年の上演で好評を得た4つのテーマに2つの新テーマを加えた、計6つのテーマ(表1)で、専属のナビゲータがVR映像を操作しながらご案内します。

<VR 作品「洛中洛外図屏風 舟木本」について>

本作品は、東京国立博物館と凸版印刷が2007年から行っているVRを用いた新しい文化財公開手法を開発する共同プロジェクトの一環として制作し、2010年1月に同シアターで初公開しました。重要文化財「洛中洛外図屏風(舟木本)」(同館所蔵)を、約22億1000万画素という原寸大の印刷やレプリカの作成が可能な品質でデジタル撮影・色彩計測を行った高精細デジタルアーカイブデータを用いることで、実物の鑑賞では見ることが困難な細部まで、大型スクリーンでじっくりとお楽しみいただけます。



		テーマ
1月	<<新作>>	京の政 京の芸能ーかぶきー
2月	寺院めぐり	京の名所今昔 京の信仰
3月	京の暮らし	京の風物詩 京の商い

(上)表1 各テーマの上演スケジュール

(左)VR 作品「洛中洛外図屏風 舟木本」より

監修:東京国立博物館 制作:凸版印刷株式会社

<重要文化財「洛中洛外図屏風(舟木本)」について>

重文 洛中洛外図屏風(舟木本)は、京都の市中と郊外を描いた「洛中洛外図」の中でも最も有名な作品の一つです。滋賀の舟木家に伝来したことから、舟木本の名で親しまれています。この作品に描かれているのは、大阪夏の陣によって豊臣家が滅びる直前の京都の名所です。にぎわう京の町が四方に広がり、その中に2,500人以上もの人物が生き生きと描かれているのが特長です。

<上演スケジュール>

※当日予約制:各回、上演10分前まで受付

	10:00の回	11:00の回	12:00の回	14:00の回	15:00の回	16:00の回
洛中洛外図屏風 舟木本	●		●		●	
江戸城一本丸御殿と天守ー		●		●		●

【TNM&TOPPAN ミュージアムシアター ご利用案内】

会場: 東京国立博物館内 TNM&TOPPAN ミュージアムシアター

上演期間: 2010年1月2日(日)～3月27日(日)の金・土・日・祝日

上演開始: 10:00/11:00/12:00/14:00/15:00/16:00

※ 当日予約制です。所要時間は約30分です。

受付場所: 本館1Fエントランス

観覧料: 東京国立博物館入館料が必要。

シアターWebサイト: <http://www.toppan-vr.jp/mt/>

【報道に関するお問合せ・

掲載用写真について】

凸版印刷株式会社 広報本部

TEL 03-3835-5636 FAX 03-3837-7675

東京国立博物館 広報室

TEL 03-3822-1111 FAX 03-3822-2081

以上

<新作2テーマについて>

【京の政(きょうのまつりごと)】

舟木本には、徳川が幕府を開いた江戸時代初頭の様子が描かれています。このテーマでは、左隻に大きく描かれている、新しい時代の象徴である二条城の増築直後の姿と、権力を示すために大きく築かれたその天守、そして覇権の交代にあたり新たな内裏を造成した直後の京都御所の姿を中心に紹介いたします。力の支配から法の支配への移り変わりや、将軍家と朝廷の関係など、京都の町に新しく現れた2つの景観を読み解いていながら、舟木本に描かれた当時の政治の姿をご覧ください。



(左)今は無き、二条城の天守



(右)徳川家の家紋が描かれた牛車

【京の芸能ーかぶきー(きょうのげいのうーかぶきー)】

舟木本が描かれた江戸時代は、庶民たちの芸能文化が花開いた時代です。当時、親しまれていた初期の芸能の姿は、現代私たちが知る姿とは少し異なっており、東京国立博物館所蔵の資料などを交えながら当時の京都の芸能の姿を紹介いたします。四条河原の芝居小屋や、陽気な人々の姿で溢れかえる五条大橋などを巡りながら、江戸時代初頭に生きた庶民たちの息吹を伝えます。



(左)四条河原の芝居小屋



(右)五条大橋を渡る人々

<同時上演作品について>

【VR 作品「江戸城ー本丸御殿と天守ー」】

VR作品「江戸城ー本丸御殿と天守ー」は、現存する図面や調査研究資料をもとに、本丸御殿の弘化2年(1845)の姿を再現しました。豪華絢爛な大広間や、「忠臣蔵」で有名な松の廊下を中心に、幻の江戸城を巡ります。

天守は、寛永15年(1638)に徳川家光が築いたものを再現しました。この寛永の天守は明暦3年(1657)の「明暦の大火」で焼失してしまい、その後、江戸幕府によって再建されることはありませんでした。本作品ではVR技術を活用し、江戸末期の本丸御殿に天守を合成しました。



(上)VR 作品「江戸城ー本丸御殿と天守ー」より
制作・著作:東京都江戸東京博物館／凸版印刷株式会社